

◆ 今週のコメント

- 腸管出血性大腸菌感染症の追加報告が6例で、そのうち4例は同一集団の感染例となっています。本年の累積報告数は58例で、平成12年～平成20年の同時期の累積報告数(27例～77例)と比較すると、平成20年(77例)に次いで多い値となっています。
- 麻しんの報告が1例(男, 2歳)あり, 19歳(4月), 24歳(5月)に続いて, 本年3例目となっています。
- インフルエンザ患者の集団感染(クラスター)の報告数は, 京都市, 全国ともに大幅に増加しています。新型インフルエンザによる全国の入院患者数は, 9月30日～10月6日で198人で, そのうち基礎疾患を有する者等が70人, 急性脳症・人工呼吸器使用患者数は16人です。
なお, 下記の発生状況に記載の急性脳炎(男2歳, 女6歳)は, 新型インフルエンザ患者からの報告です。

◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

インフルエンザの定点当たり報告数は, 5.63(383例)で, 第30週以降, 増加しています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数報告の感染症

- 二類:結核 1例(肺結核 1例, 肺外結核 なし, 無症状病原体保有者なし), (喀痰塗抹陽性 なし)
【1月以降の累積報告数 292例(肺結核 191例, 肺外結核 67例, 無症状病原体保有者 34例), (喀痰塗抹陽性 90例)】
- 三類:腸管出血性大腸菌感染症 6例(第36週～第38週追加分)【1月以降の累積報告数 58例】
- 五類:アメーバ赤痢(腸管アメーバ症) 1例【1月以降の累積報告数 13例】
- 五類:急性脳炎 2例(第38週追加分)【1月以降の累積報告数 3例】
- 五類:梅毒(早期顕症:Ⅱ期) 1例(第34週追加分)【1月以降の累積報告数 2例】
- 五類:麻しん 1例(第34週追加分)【1月以降の累積報告数 3例】

インフルエンザ情報

・集団感染(クラスター)報告件数の推移[暫定値]

	第37週	第38週	第39週	第40週
京都市	62	75	32	83
全国	3287	4105	3053	5428

・全国の新型インフルエンザ(A/H1N1)による入院患者数

	第37週	第38週	第39週	第40週
患者数	102	152	152	198
うち,基礎疾患等を有する者	33	62	55	70

定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	5.63	383
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	2.32	95
	② 突発性発しん	0.56	23
	③ ヘルパンギーナ	0.49	20
	④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.29	12
	⑤ 流行性耳下腺炎	0.27	11
眼科	流行性角結膜炎	0.20	2

病原体情報

(検体名は, 紙面の都合上, 鼻咽頭ぬぐい液をNP, 糞便をFC, 髄液をSF, 尿をURと略す。)

検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)	検体名	検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)	検体名
コクサッキーウイルスA6型(1)	かぜ症候群(第30週)	NP	アデノウイルス2型(3)	かぜ症候群(第29週×2, 第30週×1)	NP×2 FC
コクサッキーウイルスB3型(1)	かぜ症候群(第30週)	NP	アデノウイルス40/41型(1)	感染性胃腸炎(第30週)	FC
インフルエンザウイルスA型(1)	インフルエンザ(第37週)	NP			

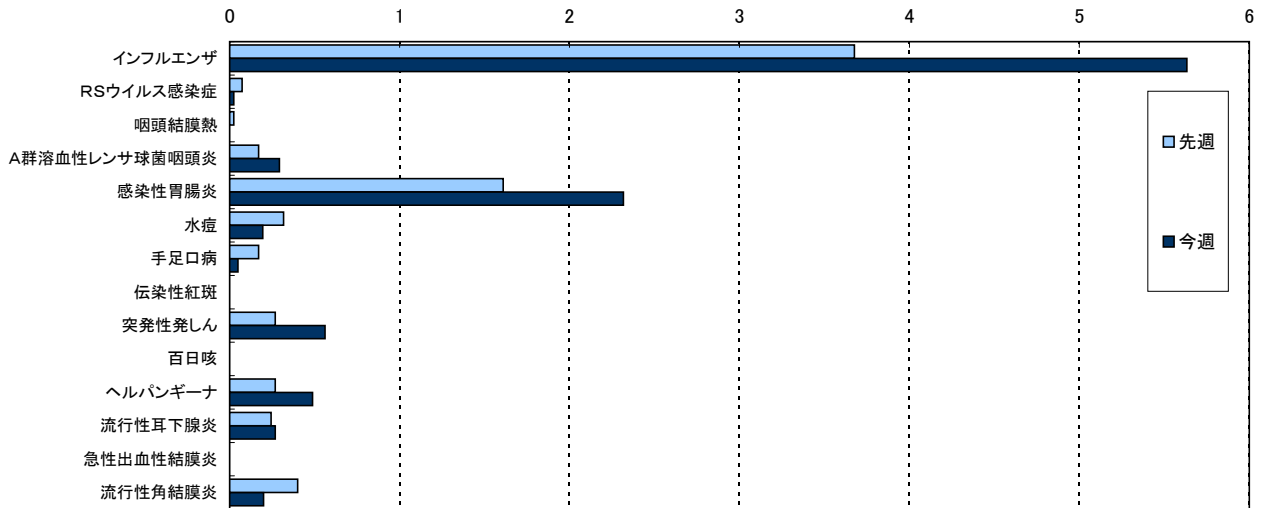
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <インフルエンザ>

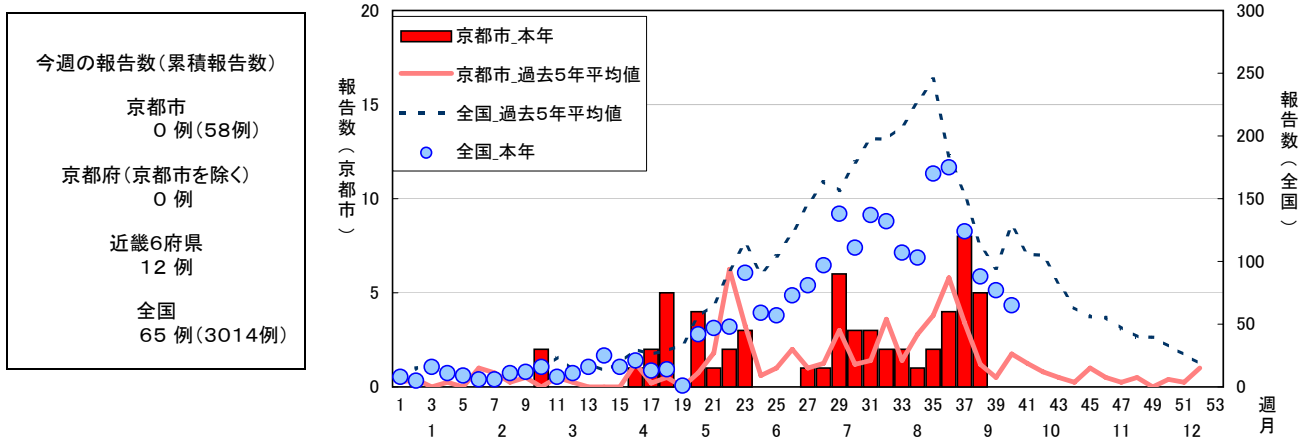
(注)京都市のデータは, 平成21年10月8日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在の保健所での集計で, 患者の住所を示すものではありません。病原体情報は, 病原体定点等から京都市衛生公害研究所へ搬入された検体から検出された病原体です。

◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第40週)と先週(第39週)の定点当たり報告数の比較



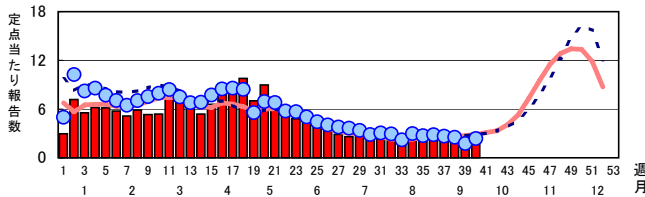
2 腸管出血性大腸菌感染症(三類感染症)の推移



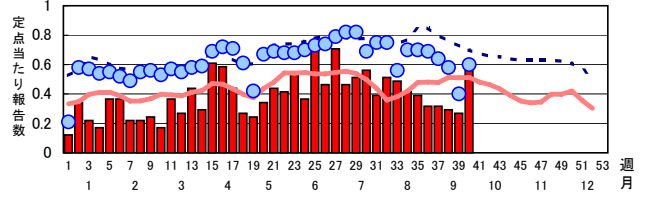
3 主な感染症の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>

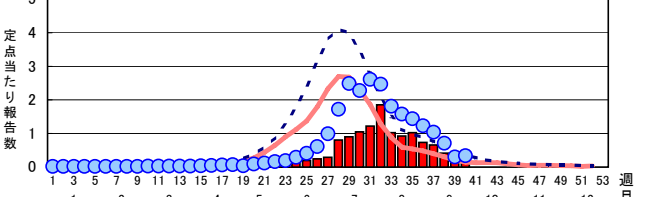
1 感染性胃腸炎



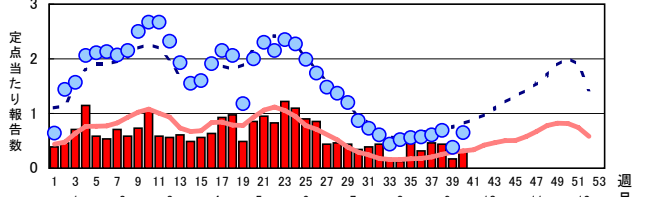
2 突発性発しん



3 ヘルパンギーナ

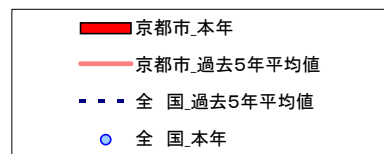
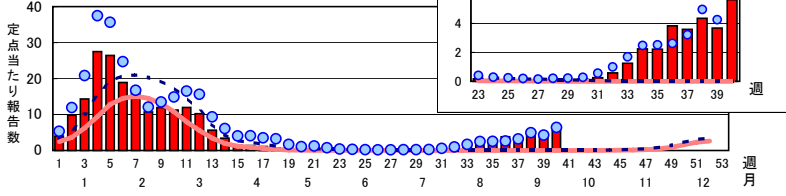


4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



<インフルエンザ定点>

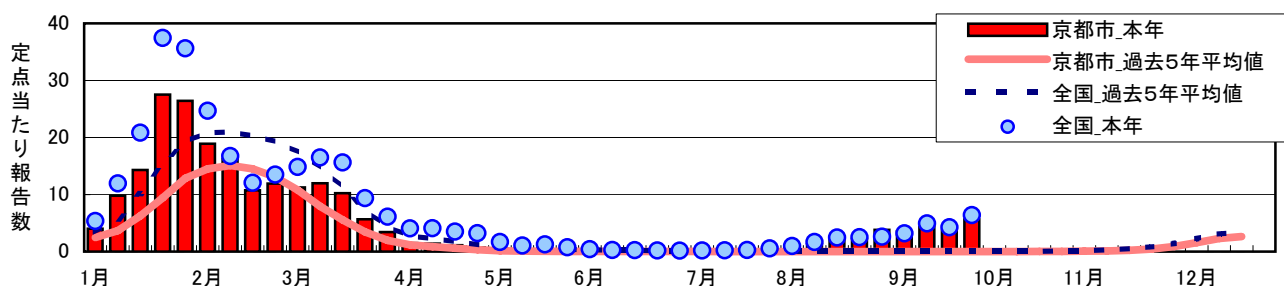
インフルエンザ



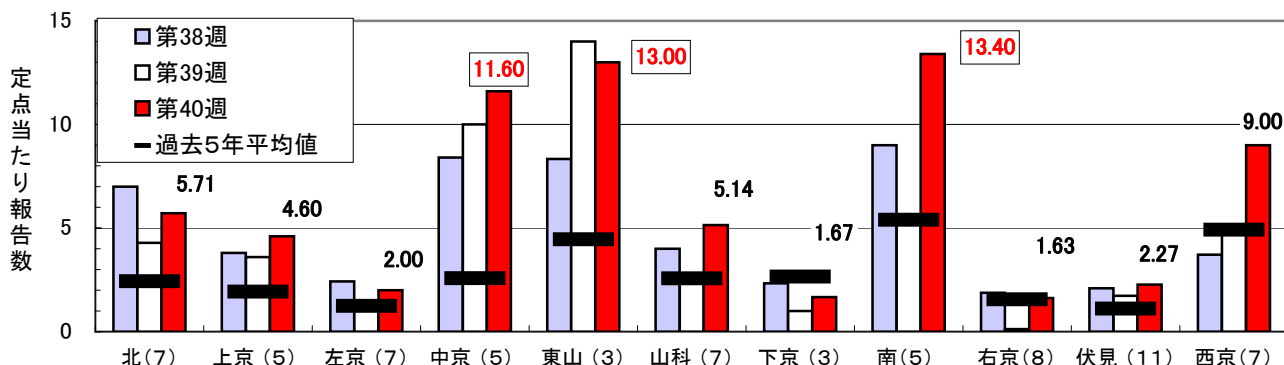
第40週(9月28日～10月4日)トピックス: <インフルエンザ>

インフルエンザの定点当たり報告数は、5.63(383例)で、第30週以降、増加しています。
 行政区別定点当たり報告数をみると、3行政区(中京, 東山, 南)で注意報の基準値(10)を超えており、すべての行政区で先週に比べ増加しています。
 また、近畿の注意報基準値(10)を超えた保健所数は、22箇所です。先週(16箇所)に比べ増加しています。さらに、全国都道府県別では、4道県(北海道, 愛知, 福岡, 沖縄)で10を越えています。
 年齢階級別にみると、第40週では「10～14歳」、「15～19歳」、「5～9歳」の順に多くなっています。
 第40週に京都市衛生公害研究所で遺伝子検査によりインフルエンザA型陽性となった53例は、すべて新型インフルエンザ(A/H1N1)[AH1pdm]です。

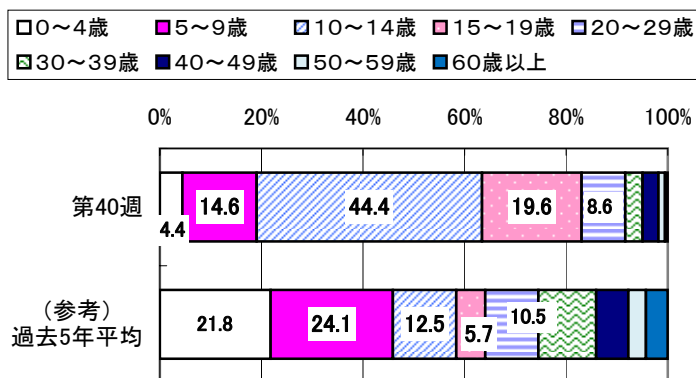
本市及び全国の定点当たり報告数 推移



行政区別定点当たり報告数の推移



年齢階級別構成割合の推移



近畿で定点当たり報告数が10を超えた保健所

滋賀	大津市	14.3	兵庫	神戸市	11.3
京都	中京	11.6	尼崎市	10.7	
	東山	13.0	西宮市	10.0	
	南	13.4	伊丹	12.9	
	山城南	11.2	加古川	11.8	
	南丹	12.4	加東	11.5	
	堺市	11.9	福崎	17.0	
大阪	大阪市西	33.4			
	大阪市天王寺	11.0			
	大阪市旭	17.2			
	大阪市住之江	11.5			
	枚方	11.6			
	藤井寺	10.3			
	富田林	16.2			
	岸和田	21.6			